

めざす子ども像 **「地域の絆を深めよう」～平城の地で命を育もう～**

取組目標 **～ “食と農” を通して地域の絆を深めよう～**

【今年度の取組紹介】

地域教育協議会会長の田んぼをお借りし、小学5年生が米つくりの体験学習をしました。地域の方の指導のもと、子どもたちは田んぼの泥の感触にキャーキャー言いながらも熱心に苗を植えていました。稲刈りではカエルやバッタに驚きながらもはじめは鎌をうまく持てなかった子ども地域の方に教えてもらいながら上手にいねを刈ることができました。



.....

- ・公民館との連携として防災害の避難所となっている平城公民館にかまどベンチを作成設置しました。ベンチの近くには防災倉庫もあり、有事の際には役立つでしょう。
- ・掲示板を作りました。場所は小学校南側、お借りしている田んぼの側で、園児も児童も学生も通る良い場所にあります。丈夫な木製のもので地域の方の手作りです。



「平城中学校区地域教育協議会」と、岡野中学校長にお願いして掲示板に書いていただきました。今年は活動が限られていて貼り出す回数が少なかったのですが近くの地域の方も散歩などで通られますので、「楽しみにいつも見せてもらってるよ・・・」と。ほぼ写真ですので見やすく、今どんな活動をしているのかよくわかるようです。



【今年度のまとめ】

今年10回目を迎える平城“食と農”ふれあいフェスタは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。しかし“食と農”を通して地域の絆を深めるための活動として継続していることも園・小学校の米つくり・サツマイモの栽培、中学校のさつま芋栽培などの体験学習は、感染防止の対策をとりながら実施することができました。子どもたちの元気な姿と笑顔にコロナ禍で憂うつになっていた私たちは元気をもらいました。活動をすることができてよかったです。

【来年度に向けて】

コロナ禍でも、“食と農”を通して地域の絆を深めるための活動を継続していけるように考えていきたいと思います。

めざす子ども像

地域の絆を深めよう ～平城の地でいのちを育もう～

取組目標

今まで取り組んできた食と農に加え、防災、労働、環境、生と性等、人が人として生きていく上で必要なテーマについての学習を深め、豊かな心を育むとともに地域の一員として地域に貢献できる人材の育成に努める

今年度の取組紹介

① 恒例のイモ栽培は「シルクスイート」に決定!!

秋に予定されていた平城“食と農”ふれあいフェスタ 2020 に出品するイモは、甘くて美味しいと評判の「シルクスイート」に変更し、4月の臨時休業中に地域の方々と教員で協力しながらイモの苗を植えました。暑い夏を越え、雨の多い9月…。収穫の心配をしつつ10月末に生徒約40人ほどの手で、「シルクスイート」が収穫されました。昨年ほどの豊作とはなりませんが、生徒たちは雨上がりの重い土を掘り起こす度に一喜一憂しながら、次々に大きな収穫物!?をゲットしていました。残念ながら、フェスタ 2020 の開催は中止となってしまう、収穫したイモで焼きイモ大会も計画しましたが、生徒への食品提供は見送らざるを得ない残念な結果となりました。



② 炎天下、夏のクリーングリーン大作戦を決行!!

8月29日(土)、中学校の敷地周辺の「クリーングリーン大作戦」を決行しました。当日は、早朝より地域教育協議会、地域自治会の協力を得て、各クラブ活動単位で作業場所を決め、草刈りを中心とする清掃作業が行われました。約2時間の作業中、地域の方々の手際の良さに感心しながら、刈った草を集める中学生と地域の方との何気ない会話の花が咲く様子は、微笑ましい光景でした。中学校の敷地周辺の草はあっという間に片付き、東門付近には草が詰め込まれたビニール袋の山が出現。炎天下、ご協力をいただいた皆様、本当にありがとうございました。



今年度のまとめ

- 新型コロナウイルスの影響で「平城“食と農”ふれあいフェスタ 2020」の開催は中止となり、「当たり前に出ていた生活が当たり前ではないこと」を感じた1年でした。恒例となった盛大な取組でしたが、コロナ禍の今年、平城中学校区の園児・小学生・中学生・地域の方が一堂に集まることはできませんでした。その中で、感じたことは「地域の中で子どもは育っている」という思いでした。形を変えても地域の方と関わりを持ちながら成長を支える取組を画策する必要性を感じました。
- 環境整美事業については、地域のお力を借りながら職員が中心となり、生徒の学習環境をたもつことが出来ました。

来年度に向けて

- 来年度は今年出来なかった「平城“食と農”ふれあいフェスタ」の取組を通じて、生徒たちが主体的に取り組む視点をさらに取り入れて、新たな取組を模索しながら取り組むたいと考えています。
- 放課後学習などコーディネーターの協力を得て、学習支援の取組を進めたいと考えています。
- 生徒一人一人が平城地域の諸活動に対して主体的に取り組む、継続的な取組にしていくとともに、地域の方の協力を得て、環境美化活動への支援の輪をさらに広げていきたいと思ひます。

めざす子ども像 **地域の絆を深めよう」～平城の地で命を育もう**

取組目標 地域・家庭・学校が、栽培・生産・命を育む取組を中心に、
協力して学んでいく

- 活動の中で、様々な人々・物・出来事とかかわり、感動を味わい、心を動かす体験をさせる。
- 活動の中で、豊かな心や規範意識、達成感、成就感を養い、コミュニケーション力を伸ばしていく。

【今年度の取組紹介】

◆米作り体験・サツマイモ栽培体験

地域の方から学校の南に隣接した田圃をお借りして、5年生が田植え・稲刈り体験を行いました。今年で11年目になります。田植えや稲刈りには、地域の方々や農協の方々が多数応援に駆け付けてくださいました。

また、1年生と6年生が協力して、地域の方々の指導のもと、サツマイモを植えたり、水やりをしたり、収穫したりしました。

◆焼きいも大会

1年生と6年生が育てたサツマイモを、学校の南に隣接した田圃で焼き、地域の人や児童、家族で食する「焼きいも大会」を10月24日（土）に行いました。

一人一つサツマイモをアルミホイルで包み、もみ殻で1時間あまり焼きました。焼きあがるまでの間は、運動場で、竹馬やコマ回し、ボール遊びなどをして楽しみました。

焼きあがった焼きいもは、どれもおいしく、地域・家庭・学校が三位一体となり、地域の絆をより深めることができました。



【今年度のまとめ】

地域の方々との協働による様々な栽培体験活動で、達成感や成就感を味わい、また、顔を合わす機会や、自然に挨拶を交わし話すことも増え、コミュニケーション力の育成につながっています。

家庭科学習・図工科学習の支援、図書室や中庭の環境整備への支援など、様々な面で地域の方々のお世話になり、教育活動を進める上でもなくてはならない存在でした。

【来年度に向けて】

各学年の児童により効果的な栽培体験学習を年度当初に計画し、地域の協力を得て実行していきたいです。教職員と地域の方々とのつながりをより深めるためにも、顔合わせや意見交換の場を設定し、密接な関係づくりを図っていきたいです。コロナ禍で今年度は実施できませんでしたが、例年行われている「ふれあいフェスタ」や「クリーン活動」などを通して、小中一貫教育の立場から子どもや教師の交流をより一層深めていきたいです。

めざす子ども像

「地域の絆を深めよう」～平城の地で命を育もう～

取組目標

食と農の活動を通して、地域の絆を深めよう**～園・家庭・地域が連携し、様々な体験を通して豊かな心と健康な体を育む～****【今年度の取組紹介】 ー焼き芋パーティーー**

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、4～5月は臨時休園、6月は分散登園となり、例年地域の方の指導のもと行っていたさつま芋の苗植えと田植えは経験できませんでしたが、園が再開してから子ども達が収穫の喜びを味わえるように、地域の方が準備し苗植えや世話をしてくださったおかげで、秋には4歳児がさつま芋の収穫を、5歳児が稲刈りを楽しむことができました。さつま芋の収穫では最後の仕上げに地域の方のシャベルで掘りおこしてもらい、出てきた芋の大きさに驚きを隠せない様子でした。また稲刈りでは優しく手を添えてもらい、初めて握った鎌でザクザクと刈る感触を楽しんでいました。

収穫したさつま芋を使っの焼き芋パーティーをととても楽しみにしていた子ども達。昨年の経験を思い出し、「葉っぱ集めよう！」「この枝はどう？」と自ら焼き芋の準備を進めていました。今年度は家庭の協力もいただき、たくさんの枝や落ち葉が集まりました。当日は、地域の方が手際よく火をおこしてくださり、その中にアルミホイルに包んだ芋を火に入れました。「おいしくなあれ」と何度もおまじないをしながら焼き上がりを楽しみにする子ども達の姿がみられました。今年度はクラス毎に時間差をつけ、広い園庭に間隔をあけて一人分ずつのシートを敷きソーシャルディスタンスをとったり、手洗いや手指消毒を徹底したりして感染症対策を十分行いながら地域の方と焼き芋パーティーを楽しみました。「美味しい！」「甘いね！」「おかわりほしいよ！」と皆で食べる嬉しさや喜びを味わっていました。保護者や地域の方の協力で、今年度も収穫の喜びを感じ、家庭ではできない体験をすることができました。

**【今年度のまとめ】**

今年度は新型コロナウイルス感染防止措置をとりながら、手探りで園生活でした。地域の方との活動も縮小となり一緒に行う活動が少なくなりましたが、皆の協力のおかげで、子ども達が楽しみにしていた焼き芋パーティーを行うことができました。一緒に栽培活動をしたり、焼き芋パーティーをしたりしたことで、食への興味関心が高まるとともに、地域の方を身近に感じ、感謝の気持ちをもつことができました。

【来年度に向けて】

感染症対策を行いながら取り組める事業は何なのか活動を精査し、園児、保護者、地域の相互が心豊かな体験になるように、今後も活動計画や活動後の振り返りを大切にしていきたいです。その際、職員と地域の方がつながりをもてるように保育後にも時間を確保していきたいと思います。